

インドネシア研修旅行

～ 神秘と幻想の世界 ジャカルタ・バリ島の旅 ～

「吉野先生と行くジャカルタ・バリ島 6泊8日」

企画手配: CAN TOUR

監修: 拓殖大学海外事情研究所 吉野文雄

協力: 拓殖大学政経学部 井上治

日程(2004年)

9月4日(土) 朝 成田発(JAL) 夕方 ジャカルタ着、サリナデパートでショッピング、ジャカルタ泊

5日(日) 終日 ジャカルタ観光(独立記念塔/国立博物館/スラバヤ通り散策/真珠見学)、ジャカルタ泊

6日(月) 午前 自由行動
午後 JETRO ジェトロ・国際交流基金訪問、ジャカルタ泊

7日(火) 午前 日系企業チュマニ・トーカ訪問、昼食は従業員食堂にて
午後 サファリパーク、夜 ジャカルタ発 バリ着、バリ泊

8日(水) 日本レストランで昼食後観光(クタビーチ/デンパサール市場(車窓)/テロ跡)その後自由行動、バリ泊

9日(木) 終日 自由行動(ビーチで泳いだりウブドに行ったり)、バリ泊

10日(金) 終日 自由行動(希望者は午後マングローブ・エコツーリズム)、深夜バリ発(JAL)、機中泊

11日(土) 朝 成田着、解散

(ツアー代金: 128,000円)



ジャカルタ到着後、デパートのフードコートにて庶民の味に挑戦! 安くてびっくり。(撮影: 9/4 やっぱ最初は地元の味!)



ラッシュを過ぎた昼間のバスに乗ってみました! バスレーンがあって渋滞なし。(撮影: 9/5 快適な空間...)



日系企業を訪問、工場見学・昼食。インドネシア人従業員 260名中、100名が日本での研修を受けたそうです。食堂でインドネシア人従業員と同じ食事をしました。CEMANI TOKA チュマニ・トーカ 1971年創業。印刷・インキ製造業。(撮影: 9/7 写真右、浅間社長です。)

旅行のポイント

- ◇ 旅行の楽しみの一つは現地の人との交流。今回の旅行では、日本語を勉強しているインドネシアの学生に博物館などを1日案内してもらいました。(ジャカルタにて)
- ◇ ガイドブックに載ってなくても、おもしろい場所はたくさんあります。そんな隠れた観光スポットを訪ねることができます。屋台やデパ地下、スラムに住む日本人など。
- ◇ 観光は参加者のリクエストを優先してもらえます。どんどんリクエストして、旅行を有意義なものにしましょう。今回は、植物園訪問の予定が参加者の希望でサファリパークに。
- ◇ 企業訪問、JETRO 訪問などは、研修旅行ならではの企画です。訪れた国の新たな一面を必ず発見できるはずですよ。



ホワイトタイガーをはじめ、ヒョウやオランウータンの子供と一緒に写真撮影！サファリパークにて。
(撮影:9/7 オランウータンの子供は寂しがりや)



テロ跡地は今も空き地でした。もうひとつのバリの姿を、私たちは忘れてはいけません。
(撮影:9/8 賑やかな町並みの中に…)



バリ3大舞踊のひとつ「ケチャ」。夕日をバックにみる踊りは幻想的で、人生観もかわりました。
(撮影:9/8 ラーマヤナ物語的一幕より)



バリでは魚は高級食材。一度輸出したマグロを外国から再度輸入しているという話を聞きました。
(撮影:9/8 マグロステーキはおいしくて安い！)



200匹の野生猿が生息するモンキー・フォレスト。葉っぱの上ちょこんと座った小猿がとても愛らしく、思わず写真を撮りました。ウブドにて。
(撮影:9/10 猿の上下関係、案外大変！?)



ウブドで有名なもののひとつに棚田があります。小さい空間(段)に植えられた苗ですが、数が集まればそれは芸術的ともいえるでしょう。
(撮影:9/10 棚田とヤシの木、不思議な光景)



JICA ジャイカが運営しているマングローブ情報センターへ行きました。熱帯地区に生えるマングローブ面積はインドネシアが世界第1位だそうです。エコツーリズムを体験しました。
(撮影:9/10 マングローブを守ろう)



バリでの宿泊先は、開放感あふれる4ツ星ホテルでリラックスできました。照明、置物などもインドネシア風で凝っていました。
(撮影:9/10 ホテルのロビーにて…)